

みいけだより

堺市立御池台小学校

8・9月号

令和8年8月25日



「予測できない時代」を生きる ～自ら考え 判断し 行動する力を～

この夏 ささまざまな出来事から

長い夏休みが終わり、こどもたちの元気な声が学校に戻ってきました。

この夏を振り返ると、連続する地震や豪雨が暮らしを脅かし、これまでの「夏の暑さ」という感覚だけでは捉えきれない気候になりました。

地震や豪雨により被害を受けられた地域の方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く安心した生活に戻れることを願っております。

一方、高校野球では、仲間と声を掛け合い、最後まで懸命にプレーする高校生の姿が、私たちに元気や感動を届けてくれました。

こうした出来事を見ながら、改めて考えました。これからの時代を生きるこどもたちには、どのような力が必要なのでしょう。

「知っている」から 「考え 判断する」へ

自然災害を完全に予測することはできません。しかし、「何が起きているのか」「今、自分はどうすればよいのか」を考えることはできます。そのためには、知識だけでなく、必要な情報を集め、確かめ、これまでの学びや経験と結び付けて、自分で考え、判断し、行動する力が必要です。

例えば、大地震が起こったとき、揺れている間はどう身を守るのか。揺れが収まった後も、今いる場所は安全なのか、さらに避難する必要があるのか。状況や情報をもとに「今、自分はどうするのか」を考えることも、これからの時代に必要な「学ぶ力」です。

「問い」「ふりかえり」と 「言葉にする力」を大切に

現在、国では次の学習指導要領に向け、「探究的な学び」や「情報活用能力」を一層大切にする方向で検討が進められています。

「なぜだろう」と問いをもち、必要な情報を集め、比べ、つなぎ合わせて考え、自分の言葉で伝える。これは、本校が今年度大切にしている

問い→考える→言葉にする→ふりかえる→ 新たな問い・・・

の学びにつながります。

2学期も、「なぜ?」「本当にそうかな?」「ほかの考え方はないかな?」と問い、友だちの考えや情報に触れながら、自分の考えを深める授業を大切にしていきたいです。

未来に生きる力を とともに

未来に何が起こるかを、私たち大人がすべて教えておくことはできません。だからこそ、どのような場面でも、自ら問い、考え、判断し、周りの人と力を合わせながら一歩を踏み出せるこどもたちを育てていきたいと思えます。

こどもたちの未来は、学校だけでつくるものではありません。

2学期も、家庭、地域、学校がともにこどもたちを見守り、支えながら、「こどもの未来をつくる学校」をめざしてまいります。

引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

堺市立御池台小学校 井上 知子

8月



日	曜	行事など
25	火	2学期始業式
26	水	[朝読]3時間授業 5年生 臨海学習保護者説明会(14時～)
27	木	[1/3授]給食開始 4時間授業
28	金	[1/3授]4時間授業
29	土	
30	日	
31	月	全校集会 通常授業開始

9月

日	曜	行事など
1	火	[1/3授]後期教科書配付 大阪 880 万人訓練
2	水	[朝読]5・6年生 委員会活動(5h)
3	木	[1/3授]
4	金	[1/3授]
5	土	9:30 PTA 本部役員・実行委員会 13:30 庭中健全育成協議会
6	日	
7	月	全校集会 諸日振替日(9・10月分) 11:10 心電図検査(1年全員、2～6年抽出)
8	火	[1/3授]3・4年生 二測定
9	水	[朝読]5・6年生 二測定 4～6年クラブ活動(5h)
10	木	[1/3授]1・2年生 二測定
11	金	[1/3授]
12	土	堺市学校理科展覧会(ソフィア堺)
13	日	堺市学校理科展覧会(ソフィア堺)

行事予定

日	曜	行事など
14	月	全校集会
15	火	[1/3授]学校安全の日 諸費再振替日(9・10月分)
16	水	[朝読]9/29と振りかえ(午後授業)
17	木	[1/3授]
18	金	[1/3授]
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	[1/3授]
25	金	[1/3授]
26	土	PTA 人権研修会(人権ふれあいC)
27	日	
28	月	全校集会
29	火	[1/3授]校内研修(3年1組)他4時間授業
30	水	[朝読]4時間授業

おしらせ

スクールカウンセラーの来校日程

9月1日(火) 時間 10:30～12:30

各50分程度の予約制です。

カウンセリングをご希望の方(児童・保護者)は、担任または教頭までお問い合わせください。

お願い します



9月1日(火)に災害の備えを「確認・実践」する「大阪 880 万人訓練」があります。

この訓練を通して、こどもたちには、例えば大地震が起こったとき、自らの安全を守るために「自分はどうするか」を考えてほしいと思います。

ご家庭でも「こんな場合はどうするか」「そのために今、備えられることは何か」等について話し合う機会をもっていただきますようお願いいたします。